

	現状の整理		ワークショップにより得た意見
	現状	強みと弱み	
①人口・世帯	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口は減少傾向にあるが、世帯数は横ばいであり、世帯当たりの構成人数が減少している 2. 市域全体と比較すると中心市街地は人口減少の傾向が大きい 3. 高齢者の比率が高く、子育て世代の比率が低い 	<p>弱) 進学や就職をきっかけに多くの若者が流出 強) マンション建設により、人口が増加しているエリアがあることから、住宅には一定量の需要がある</p> <p>弱) 将来的な定住人口の減少による地域活動の継続、維持が困難</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちなかに住んでみたい 2. 駐車場ばかりで住んでいる人は少ないと感じる
②店舗・事業所・住居等の建築物	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所数は減少傾向にある 2. 事業所数の減少に伴い従業員数も減少している 3. 店舗の郊外化に伴い、中心市街地の店舗の減少 4. コンビニなど、全国展開のナショナルチェーン店が少ない 5. 空き家、空き店舗などの遊休不動産が点在している 6. 相続や郊外開発、所有者の高齢化などにより空き家が多く分布 7. 全国的な通信販売の普及等による店舗の販売額の減少 	<p>強) 古い街並みなどがロケ地として活用されている</p> <p>弱) 店舗の減少など来街目的が喪失している</p> <p>弱) 店舗や事業所の減少により賑わいの連続性に欠ける</p> <p>強) 活用の余地のある遊休不動産が存在している</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. お店の中の様子が見えて、賑わいが漏れ出すような店舗が増えればまちが明るくなると思う 2. 住みながら近くで働ける街がいい 3. 職住近接の取り組みが必要(1F店舗2F以上が住居) 4. 働く場所がもっと必要 5. アーティストやデザイナーといったクリエイティブ人材の職場をもっと増やすべき 6. 企業を誘致して働く場所を増やしたほうがよい 7. 公園の近くに住居があることでコミュニケーションが生まれる 8. カフェや屋台が並ぶようになると賑わう 9. 緑と店舗が共存するとよい
③公園・緑地・オープンスペース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平面駐車場への転用や未活用による空き地などの増加による低未利用地が多く分布している 2. 中心市街地を含む周辺には街区公園、近隣公園、総合公園、緑地が多く分布している 	<p>強) 活用の余地のある低未利用地が多く存在している</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水と緑に溢れた中心市街地が前橋の誇り 2. 中心市街地には神社や寺が多いが活用されていない 3. 大きな公園、憩いの場が欲しい 4. 緑が多く、リラックスできるまちがいい 5. 前橋公園や広瀬川など緑が多く魅力的な散策エリアがある 6. 子供が遊べる公園が欲しい
交通・街路	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自動運転バスの実証実験 2. デマンドバスのA I活用の実証実験 3. 中心市街地には鉄道駅が2つとJR前橋駅にはバス会社6社と循環バスが乗り入れている 4. 日常的な移動手段として自動車が多いが、公共交通、徒歩、自転車は少ない 	<p>強) 新技術を活用した先進的な取り組みを行っている</p> <p>強) 市内において中心市街地は公共交通が比較的整っている</p> <p>弱) 自動車依存型社会が進展</p> <p>弱) 公共交通の利用者が少ないため、公的負担が多い</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車を使わずに生活できる環境になるといい 2. 移動は車に依存している 3. 歩行者や自転車にやさしい整備が必要 4. バス路線が不便 5. 前橋駅から中心市街地に歩かせる工夫が必要
⑤文化・歴史・自然	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広瀬川、赤城山、利根川、前橋公園、といった自然資産がある 2. 臨江閣、前橋城址、絹産業、るなばあく、前橋文学館、萩原朔太郎、アーツ前橋、太陽の鐘といった歴史、文化、芸術資産や前橋三大祭りがある 	<p>強) 中心市街地に歴史・文化・芸術・自然資産が数多く存在する</p> <p>弱) 資産が数多く存在するものの連携がうすく、来街者の回遊に繋がっていない</p> <p>強) 前橋三大祭りには多くの集客がある</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ストーリー性をもって人を集めることが必要 2. 前橋公園、広瀬川、利根川、赤城山、るなばあく、といった前橋固有の資産をもっと活用したほうがよい 3. 広瀬川や、けやき並木を生かしたカフェやオフィス、住居を整備したほうがよい 4. 子供と一緒にるなばあくへ遊びに行くことが多い
⑥前橋市全域の特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前橋5G等ICT利活用検討推進協議会の発足 2. 市内には多くの専門学校や大学など教育施設があるが、中心市街地には少ない 3. 農業産出額が高い 4. 畜産業産出額が高い 5. 観光客入込数は県内で多い 6. 創業支援センターの設置 7. スローシティ国際連盟へ加入(国内2番目) 8. 移住コンシェルジュの配置 9. がん検診の完全無料化や、様々な健康づくり活動の実施 	<p>強) ICTを活用した地域課題解決に向けた取り組み</p> <p>強) 市民10万人当たりの医師数が多い</p> <p>強) 市民10万人当たりの病院、診療所数が多い</p> <p>強) 福祉施設が多く立地している</p> <p>強) 官公庁は県庁前通り周辺に集積しており、市民サービスの拠点となっている</p> <p>弱) 中心市街地に学生が少ない</p> <p>弱) 農畜産業における産出は多いが消費されていない</p> <p>弱) 観光客のうち宿泊者は少ない</p> <p>強) 起業ノウハウの支援</p> <p>弱) 特徴のある商品が少なく、競争力に欠ける</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校があれば若者が増え、商業が栄える 2. 商店街には個性的で魅力的な店が多いが、うまく発信できていない 3. 子育てしやすいまちだと感じる 4. 昔からあるものをもっと生かすほうが良い 5. 古い建物が前橋らしく魅力的 6. 新しいものを作るだけでなく、今あるものを生かすべき

将来の方向性

現状の整理

- 活用の余地のある低未利用地が多く存在している
- 市内において中心市街地は公共交通が比較的整っている
- 中心市街地を含む周辺には公園、緑地が多く分布している
- 医療施設、福祉施設が多く立地している
- 新技術(自動運転バス、5G等ICT)を活用した先進的な取り組みを行っている

ワークショップにより得た意見

- お店の中の様子が見えて、賑わいが漏れ出すような店舗が増えればまちが明るくなると思う
- 車を使わずに生活できる環境になるといい
- 水と緑に溢れた中心市街地が前橋の誇り
- 神社や寺が多いが活用されていない

↓

都市の活力であるまちの賑わいや便利さといった経済的な一面と、水や緑など自然が多いことによる居心地の良さや快適さといった環境的な一面を両立させることで、持続可能なまちを目指す

↓

都市の便利さと自然と暮らす居心地の良さを兼ね備えたまちづくり
『エコ・ディストリクト』

現状の整理

- 事業所、店舗は減少傾向にあり、それに伴い従業員数も減少している
- マンション建設により、人口が増加しているエリアがあることから、住宅には一定量の需要がある
- 市内には多くの専門学校や大学など教育施設があるが、中心市街地には少ない

ワークショップにより得た意見

- 住みながら近くで働ける街がいい
- まちなかに住んでみたい
- クリエイティブ人材の職場をもっと増やすべき
- 学校があれば若者が増え、商業が栄える

↓

“住む” “働く” “商う” “学ぶ” といった単独用途ではまちの活気に寄与しないことから、これら用途をバランスよく配置し、複合化することで日常生活が徒歩圏内で成り立つようになる。このように用途の混在した開発を官民で連携して誘導することで、活気あるまちを目指す

↓

住・職・商・学といった複数用途の混在したまちづくり
『ミクストユース』

現状の整理

- ナショナルチェーン店が少なく、古い街並みが残っている
- 中心市街地には歴史、文化、芸術、自然資産が数多く存在する
- 農畜産業の産出額が高いが、消費は少ない

ワークショップにより得た意見

- 個性的で魅力的な店が多いが、うまく発信できていない
- 前橋公園、広瀬川、利根川、赤城山、るなばあく、といった前橋固有の資産をもっと活用したほうがよい

↓

歴史・文化・芸術・自然といった地域固有の資産を複合的に活用することや、前橋の特産を中心市街地で消費する仕組みをつくることにより、地域で稼ぐことのできる個性的なまちを目指す

↓

地域固有の資源を最大限活用したまちづくり
『ローカルファースト』